2018.08.15

セミ

小嶋祥三

今年は無闇に暑いので、散歩を控えている。このところの不安定な天気も散歩をしない理由の一つだ。昨日 13 日は雷が鳴り、猛烈な雨が降った。さて、この暑さの中、8 月 4 日に初めてホウシゼミが鳴くのを聞き、7 日にイチモンジセセリがベランダの花に来ているのをみた。わたしにとって、これらの虫は秋の気配を感じさせるものなのだ。今年、我が家の周りではセミが少なかった。セミの鳴き声を聞きたくなり（来日した西洋人はセミの鳴き声をうるさいと思うようだ)、今日 14 日暑い中、善福寺川緑地へ散歩に出かけた。川は昨日の豪雨で水かさが増したのだろう、川辺の草がなぎ倒されていた（写真)。

善福寺川の周辺は、期待通り、蝉しぐれ状態だった。鳴いていたのはアブラゼミ、ホウシゼミ、ミンミンゼミだった。愛知県犬山には多くいたクマゼミの声は聞かなかった。ここにはいないのか（温暖化で東京 23 区内にも生息するという)、それとも、散歩に行ったのが午後だったせいか（クマゼミは午前中に鳴くらしい)。善福寺川に沿って下って行くと、アブラゼミの鳴き声はどこでも聞くことができたが、ホウシゼミとミンミンゼミは鳴く場所がパッチ状になっていた。歩きながらこの点について考えた。これはアブラゼミの個体数が多く、ホウシゼミとミンミンゼミは少ないからだろうか。それとも、セミは種類によって好む樹があるのだろうか。家に帰ってネットで調べたところ、樹に関して好みがあるようだった。真偽は不明だが、例えばホウシゼミはどの樹を好むのだろうか。クマゼミとともに、それらは今後の宿題にしておこう。